

第1回 環境シンポジオン —— ”古き良き” 環境サロンの再興をめざして

シンポジオン symposion :ともに飲むこと、饗宴 (きょうえん) (出典:大辞泉)

地域ビジョンへの期待

持続可能な地域社会の形成に向けて、ビジョンと関わって20年

新型コロナウイルス対策のため、当面の間 開催を延期いたします。

日時 ~~5月29日(水) 18:30~20:30 (受付:18:00)~~

講師 **畑 正夫 氏** 兵庫県立大学 地域創造機構 教授



1958年兵庫県生まれ。関西大学法学部卒業。埼玉大学大学院政策科学研究科修了(修士(政策分析))。兵庫県立大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士(経済学))。82年兵庫県入庁。12年まで、「障がい者福祉」「地域国際化」「地域情報政策」(於:21世紀ひょうご創造協会)「地方分権・行政改革」などの幅広い政策領域の担当を経て、地域の将来像を描く兵庫県のビジョン「21世紀兵庫長期ビジョン」に至るまで、多様な地域課題の現場を踏査するとともに、新たなガバナンスにふさわしい政策枠組みのあり方について実務経験を積んできた。また、人口減少社会の調査研究、小規模な集落の課題への対応、構造改革特区や地域総合改革特区「あわじ環境未来島」、「山陰海岸ジオパーク」などの取組にも関わり、地域づくりのあり方を考えてきた。兵庫県立大学では地域創造機構の教員(企画室長)として、実務家経験を生かし、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の平成 25 年度採択に中心的役割を担った(平成 26 年度には同事業の選定委員会ペーパーフェリーを担当)。教育・研究・社会貢献の各側面での大学と地域との関

わりの中で生み出される社会イノベーションについて、「持続可能性」をキーワードに多主体による社会変革の創出、そのために不可欠な教育のあり方として PBL などに興味を持つ。

ビジョンにもとづく新たな地域社会のガバナンスの実現に向けて人生を賭して取り組んでこられた畑正夫氏に、最近のホット 이슈 (例、SDGs、society 5.0、地域循環共生圏、地方創生等) を読み解いて (ぶった斬って) もらうことを端緒に、肴をつまみ、地酒を嗜みながら、本音ベースで参加者と講師とインタラクティブに進めることで、参加者全員で次代の地域社会のガバナンスのあり方を展望します。

ぜひとも、さまざまな分野の皆様からご参加いただけますようご案内申し上げます。

参加費

正・賛助会員	1,500 (1,000) 円	準会員	1,000 (500) 円
一般 (非会員)	2,500 (2,000) 円	学生 (非会員)	1,500 (1,000) 円

※ () は事前振込頂いた場合の参加費です。

定員 30名

会場

環境情報科学センター会議室
東京都千代田区九段南 3-2-7
いちご九段三丁目ビル 2F

- ・JR 市ヶ谷駅徒歩 7分
- ・地下鉄東西線/半蔵門線九段下駅徒歩 10分



(^o^)/ つまみ・酒等の持込みご協力のお願い!

主催者はごくわずかな乾き物しか用意しておりませんので、参加者の皆様からのご自慢のお酒や肴のお持込みを大いに期待しています!